

# 春だ！「リニア反対」を 叫ぼう2020

## ～長野県駅予定地飯田市座光寺でデモをしたよ～

前島久美（大鹿の十年先を変える会※）

伊那谷で「リニア反対デモ」をやりたい…そんなことをぼんやりと思ったのは、東京研修中に天皇制反対のデモに参加したのがきっかけだった。車道を貸し切り、主張しながら歩くことで不特定多数の人達にアピールすることができる。交通規制がかかるので、行き交う通行人や運転手は不本意にも待たされる。嫌でもアピールが耳に入ってしまうのが効果だと感じた。これまでリニア反対の集会をやっても、反対しているか、疑問を持つ人は集まってくれる。けれどそれ以外の層。

例えば、賛成もししくは容認、情報のアンテナにさえかかっていない人は届かない。未だに県内外の人たちに「反対の人がいるなんて知らなかった」「大鹿村はデメリットしかないのに反対の声がなくて不思議だ」と言われる有様だ。これまでメディアに働きかけをしながら反対アピールをして来たつもりだったのに、こういう評価を聞くと力不足を感じずにはいられない。今までやってないことをやってみよう。そうだ！「デモ」をやろう、ということになった。

早速、大鹿の十年先を変える会の呼びかけてデモ実行委員会の有志団体「長野県でリニアに反対する会」を立ち上げ、日時を設定した。感染症の拡大などで、当初予定していた「講演会×デモ」は中止延期になったが、感染症の対策はとりつつデモはおこなうこととした。南信州新聞という地元紙は事前にイベントとして告知をしてくれた。反応もそれなりにあって「私も反対だ」ということを伝えるためにわざわざ

電話をしてくれた人もいた。



4月19日当日、伊那谷各地、また沿線自治体から人が集まる。静岡、愛知、東京、大阪からも参加があった。総勢約20名。多くても10名を

想定していただけに、大盛り上がりの域だ。高森町の歌声サークルのメンバーがリニア反対のオリジナル楽曲や青い山脈の替え歌を歌ってくれ盛り上がったところでデモ隊スタート。東京のN子さんとRっぽさんには慣れたところで、代わる代わるデモコールを担当してもらった。N子さんの声はどこまでも伸びやかに、遠くに届く。Rっぽさんの声は自然と歩みがゆ

っくりになるような和やかさがある。人柄が伝わってくる。私はコール返しを担当した。「不要不急のリニア工事はやめろ」「ミゾゴイの里を守れ」「天竜川の命を殺すな」「イヌワシの谷を守れ」「リニアのない伊那谷に住みたい!」「残土は産業廃棄物」「トンネル掘って残土をまき散らすな!」「南アルプスを守ろう!」「地域、住民を分断するリニア反対」好きな事を叫んで「スカッ」とした。意外に気持ち良かった。



デモ解散地は駅予定地にあたり  
現地フィールドワークも行われた

私は、緊急事態宣言の全国拡大を受けて少なからずデモ実行に迷いがあった。しかし、デモをしながら沿道の人たちの反応を見る限り、やってよかったと思った。具体的な沿道の反応としては、店舗から従業員やお客様がでてきてスマホで撮影している人、タバコ休憩で出てきた人が珍しそうな目でみていたり、焼き肉をやっている家族がベランダまで出て来て覗き込んでいたり、「私も反対」と言って手を振る人、車の中から応援する素振りを見せる人。「歩道を歩け!」と怒って叫んでいく人。そこまではりアクションがないものの、驚いた顔、目線をそらす人。ツイッターの書き込みには「不要不急のデモは止めろ」というのがあった。リニア工事の抑圧的な感じが大鹿村や広くは飯田下伊那に広がる中、「リニア反対」をキーワードに今まで手の届かなかった層にアプローチ出来たことは、効果として大きかったのではないかと振り返る。

## 後日談 ~デモあるある~

「デモ実行」については時節柄、多方面から反対の声がある事を想定していた。私も怖がっていたうちの一人なのだけれど、話し合いの場を持ったところ以外にすんなり実行が決まった。意思一致していたのは、リニアもコロナも問題は「国の判断基準に従ったところで問題の解決になるのか?」「実際、解決にならないのが問題だろ」だからこそ「今、デモでしょ!」というシンプルなものだった。「つまらない社会性」より「野生」の判断が出来る大人達がいたものだと、誇らしくおもった。この時点でネットや路上での批判は織り込み済みだった。

いつも気にかけてくださる知人にデモ実行を伝えたら「私が久美さんだったらやめます。長く闘っていかなければならない問題だから今デモをやる事で社会的な批判が今後の足かせになるのでは」という趣旨のご意見をいただいた。「私はあなたではないので、やります」ということでしかないのだけれど、心配してくれる内容もわかるのでこちらの判断を丁寧にお伝えしておいた。

実家にコロナ疎開中のYさんは、翌日報道された記事をみて「ぎゃーぎゃー言ってもだめなんだよな」とおしゃっていたそうだ。『「ぎゃーぎゃー言う」ことしかやってない訳ではないから御心配なく』と心のなかで呟いておいた。

当日の様子は「南アルプスモニター」で検索。写真たっぷりにデモレポートをご覧頂けます。  
※)大鹿の十年先を変える会…リニアに反対する有志団体

(20/04/26 記)